

扱 い	テレビ・ラジオ・新聞 制限なし
解 禁	無し

記者発表資料

平成22年11月12日

ヤギ・羊の試験的放牧について

国土交通省雲仙復興事務所では、噴火災害後の土砂災害を防止し、「安全で水と緑豊かな地域づくり」を目指して、平成5年から水無川、中尾川、湯江川の各流域において砂防事業を実施しています。

地域の安全を確保するとともに砂防事業を展開する区域として指定した砂防指定地の平常時の有効活用を図る観点から、地域住民の皆様のご意見をいただき、雲仙普賢岳砂防指定地利活用構想(平成9年5月)を取りまとめました。今回、この構想に基づき、良好な環境を創出するとともに多くの皆様にご活用いただけるオープンスペースの創出に向けた取り組みの一環として、水無川導流堤内においてヤギ・羊を試験的に放牧することとしました。導流堤内は広大なスペースを有していますが、これまで雑草が繁茂し、あまり利用されていない状況でしたが、ヤギ・羊を放牧し雑草を食べてもらうことにより、雑草が除去され多くの皆様に利用しやすい環境となることを期待しています。

今回の試験的放牧は、島原農業高校山田善光先生の技術的ご指導・ご協力をいただき実施するものであり、試験結果については、島原農業高校・地域住民の方等からなる検討会を開催して、効果・利活用方策などを検討することとしています。

- 1 日 時 平成22年11月7日(日)～2月
- 2 場 所 ①安徳大橋下流(国道251号)
②水無川導流堤左岸堤防(島原深江道路～広域農道橋の間)
※別紙の位置図を参照
- 3 頭 数 ①安徳大橋下流 ヤギ2頭、羊2頭
②水無川導流堤 ヤギ5頭、羊5頭

※水無川導流堤内は「雲仙普賢岳砂防指定地利活用構想」の中で平常時に野外スポーツや体験農園として利用するゾーンとして位置づけられています。

問い合わせ先

発表記者クラブ
・島原記者クラブ

国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所
(0957)64-4171(代表)

調査・品質確保課長 前田 昭浩 (内線351)